



第 36 回東海チャンピオンシップレース
2011 年 10 月 30 日、11 月 5、6 日

主 催:JSAF 外洋東海
協 力:ラグナマリーナ
開催地:愛知県 蒲郡市沖

帆走指示書

1. 適用規則

1.1. このレースには以下の規則が適用されます。

1.1.1. 「セーリング競技規則 2009-2012」(以下、RRS と省略)とその定義に含まれる規則

(<http://www.sailing.org/tools/documents/RRS2009-2012-%5B5950%5D.pdf>)

1.1.2. 「JSAF 外洋特別規定 2010-2011」(以下、JSAF-OSR)

(http://jsaf-anzen.jp/pdf/J-OSRM04_v15_0317.pdf)

1.1.3. 「IRC Rule 2011」(以下、IRC ルール)のパート A, B, C。

(http://www.tosc.jp/wp-content/uploads/2011/10/IRC-2011_jpn.pdf)ただし、下記の項目に関しては次のように変更します。

セールの制限:本レガッタは複数日にわたって行なわれるため、艇に搭載するセールを変更することができます。(IRC Rule 21.1.5.(d)を適用しません)

1.1.4. JSAF 外洋東海 2011 年レース公示、

(<http://www.tosc.jp/wp-content/uploads/2011/03/1b6bb6f4e8df81af418cd4f8e3304a9e.pdf>)

1.1.5. 東海チャンピオンシップレース公示

(<http://www.tosc.jp/race/notice/2011n/2890.html>)

1.2. 本帆走指示書により変更された上記規則の規定は除かれ、内容が異なる場合には本帆走指示書が優先します。

2. 競技者への通告

レース本部に設置する公式掲示板に掲示されます。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の最初のレースの予定されたスタート予告信号の 90 分前までに掲示されます。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 19:00 までに掲示されません。

4. 陸上で発する信号

陸上で発する信号は、レース本部前のポールに掲揚されます。

5. レースの日程

スタート予告信号



10月30日(日)	09:55	第1レース (風上風下コース、最大4レース)
11月5日(土)	08:55	ディスタンスコースレース
11月6日(日)	09:55	その日の最初のレース (風上風下コース、最大4レース)

(*パーティをディスタンスレースの全艇フィニッシュ後、ガーデンスペースにて行います)

6. クラス旗

クラス旗は JSAF クラブ旗が使用されます。

7. コース

7.1. 風上風下コースレース

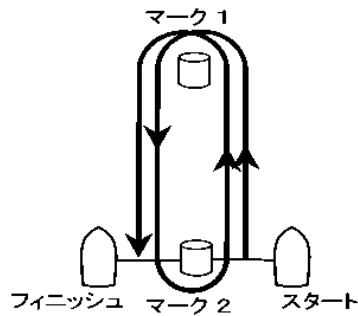
レース海域

ラグナマリーナ沖

コース

スタート→1 マーク→2 マーク→1 マーク→フィニッシュ

マークを左舷に見て回航。



7.2. ディスタンスコースレース

スタート・フィニッシュ: ラグナマリーナ沖

コース: 下記のうちから選択したマーク・島を回航するコースが当日公式掲示されます。

豊橋マーク

野島

生田マーク

梶島マーク

7.2.1. ウェザーマーク

ウェザーマークが設定されることがあります。ウェザーマークを打ち、本部船に赤旗または緑旗を掲げた場合にはウェザーマークを下記の要領で回航後最初のマークに向かってください。

赤旗: 右舷に見て、緑旗を上げた場合には左舷に見てウェザーマークを回航することとします。

ウェザーマークの距離・方位が掲示されます。

8. マーク

マークは、三角または円筒形のオレンジ色の膨張式ブイを使用します。



9. スタート方法及びスタートに関する信号

- 9.1. スタートは RRS 26 の方式とします。
- 9.2. スターティング・ラインは、スターボードの端に位置する本部船のオレンジ旗を掲揚したマスト/ポールとポートの端のスターティング・マークとの間です。
- 9.3. スタート信号から 10 分以内にスタートできなかった艇は「DNS」と記録されます。

10. コースの次のレグの変更

- 10.1. コースの次のレグを変更する場合、新しいマークを設置し可能な限り元のマークを回収します。または、元のマークを移動する場合があります。
- 10.2. コースの次のレグを変更する場合には、反復音響を発し、C 旗を掲揚します。また、次のマークの距離方位を掲示します。

11. フィニッシュ

11.1. 風上風下コースレース

フィニッシング・ラインは、スターボードの端となる青旗を掲揚している運営艇のオレンジ色旗を掲揚したマスト/ポールとポートの端となるフィニッシング・マークの間とします。

11.2. ディスタンスレースコースレース

- 11.2.1. フィニッシュ・ラインは、ポートの端となる「三河港ラグナマリーナ海陽西防波堤灯台」(Iso G 4s)とスターボードの端となるフィニッシュ・マークまたは青旗を掲揚している運営艇のオレンジ色旗を掲揚しているマスト/ポールとの間とします。フィニッシュ・マークは、「三河港ラグナマリーナ海陽西防波堤灯台」から約 185° の方向で約 600m の距離に設置します。
- 11.2.2. フィニッシュする艇は、フィニッシュの約1時間から 30 分前までの間に、レース本部の電話を呼び出し、現在位置・フィニッシュの見通しの時間を通告してください。
- 11.2.3. 上記通告を怠った艇はペナルティーを課せられる場合があります。

12. ペナルティ

ディスタンスコースレースのフィニッシュの通告違反によりペナルティを課される場合には、レース所要時間に 20 分を加えて修正時間を計算します。

13. タイムリミット

- 13.1. フィニッシュのタイムリミットは以下の時間・時刻とし、それ以前にフィニッシュ出来なかった艇は「DNF」と記録されます。これは RRS 35 を変更しています。
 - 13.1.1. 風上風下コースレース=スタート後 120 分
 - 13.1.2. ディスタンスコースレース 17:00

14. 抗議と救済の要求

- 14.1. 抗議しようとする艇は RRS 61.1 に加えて、フィニッシュ後直ちに、フィニッシュのレース運営艇に抗議しようとする相手の艇名とその旨を通知してください。



- 14.2. 抗議は所定の書式に記入し、その日の最終レース終了後 90 分以内にレース本部に提出してください。
- 14.3. 抗議に関わる通告は、公式掲示板に掲示します。

15. 修正時間・順位・得点

- 15.1. 修正時間・順位は、「IRC ルール」に定義されたレーティングシステムを使用します。
- 15.2. 修正時間が同じ場合には、RRS 付則 A7 を適用します。(レース公示の変更です)
- 15.3. シリーズの得点は、低得点法とし、6 レース以上成立した場合には最も悪い得点を除外して合計します。
(RRS 付則 A2 を変更しています)
- 15.4. 各レースの得点係数
下記の係数を各レースの得点に乗じてシリーズを集計します。
風上風下コースレース=1.0
ディスタンスコースレース=1.25

16. 安全規程

- 16.1. レース艇は各日のレースの出艇申告書を当日の出艇申告時間に提出してください。
- 16.2. 帰着した艇はその日の最後のレースの終了後 90 分以内に、レース本部の申告書に必要事項を記入の上、艇長が署名してください。
- 16.3. スタートしない艇またはリタイアした艇は、その旨をレース本部に直ちに報告しなければなりません。また上記報告は当該艇の責任者が行ってください、第三者による報告は無効とします。

17. エンジンの使用

座礁後または他艇や物体と衝突した後、それから離れるために、艇は乗員およびいかなる装備による力を用いても良い。(RRS 42.3 (g)を変更しています。)

座礁・衝突などのおそれがある場合にそれを回避するためにエンジンによる推進を使用した場合には、回避した後直ちにリタイアしなければなりません。

18. インスペクション

レース委員会は、事前(出艇申告受付時より)、事後を含めて、参加艇がレースの条件に適合しているかをチェックする権限があり、艇の責任者はそれを拒否できません。乗員の資格や人数に関しても随時行います。

19. 運営艇

運営艇のうち、本部船には JSAF エンサイン、その他の艇にはレースコミティ旗を掲揚します。

20. 支援艇

支援艇は、予告信号から最終艇がフィニッシュするまで、レース海面から離れていなければなりません。



21. ごみ処理

レース艇、支援艇はごみを海に投棄してはいけません。

22. 上架の制限

レース艇は、シリーズ中上架してはいけません。レース委員会の事前の許可を得た場合にはそれに従ってください。

23. 無線通信

23.1. 無線送受信機および携帯電話による音声通話

制限しません

23.2. インターネット、その他の通信など

インターネット、電子メールシステム、電子掲示板システムこれに類似するシステムの使用を制限しません。

24. 表彰（JSAF 外洋東海 2011 年度レース公示参照）

24.1. 参加数に応じて、それぞれのクラスの上位を表彰します。

24.2. 表彰は JSAF 外洋東海年末パーティーで行います。

25. 責任の所在

25.1. 競技者は、完全に自己のリスクでレガッタに参加しています。RRS 4、「レースをすることの決定」参照。主催および協力団体は、レガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後に関連して受けた物的損害または個人の負傷もしくは死亡に対する責任を否認しています。

25.2. 艇とクルーの安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは、所有艇が十分に艀装され、かつ、必要な耐航性を保ち荒天の海にも適した経験豊かなクルーを乗り組ませるようにしなければなりません。オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよび全ての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置場所をクルーに熟知させておかなければなりません。

25.3. JSAFOSR およびその他の JSAF が定める外洋レースに関わる特別規定の制定、適用、およびこれ等の諸規定に基づく検査の実施はオーナーが自艇の安全の確保の一助に供するものであって、安全を保障したりオーナーの責任を肩代わりするものではありません。

25.4. クルーは、自己の責任に於て自身の安全を確保し、落水等のないよう努め、かつ、艇とクルーの安全の確保に努めなければなりません。クルーは、荒天の海にも耐え得る精神力と体力を養い、かつ、操艇または作業ができるよう技術を磨き、また全ての装備および安全備品の使用方法と置場所を熟知するよう努めなければなりません。

25.5. 何れの艇に乗るか、またレースに参加するか否かは全て各々のクルーの責任のみで決定されます。

26. GPS ロガー

レース艇は、GPS ロガーを携行してください。



GPS ロガーはレース委員会が準備し、貸与します。
出艇申告時に受け取り、帰着申告時に返却してください。

27. レース委員会

27.1. レース本部

所在:ラグナマリーナ

電話番号:090-8955-6873 (レース委員長)

27.2. レース委員会:委員長;菱田育夫、副委員長;川合紀行

委員;坂谷定生、大島茂樹、河内道夫、牧野秀明、五藤敏、三浦信郎

27.3. プロテスト委員会:委員長;大島茂樹 委員;河内道夫、菱田育夫

27.4. 広報委員会:委員長;河内道夫 委員;梅村泰博、寺尾真裕子

27.5. インспекション委員会:委員長;川合紀行、五藤敏